

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	小山田高齢者在宅サービスセンター		
施設概要	【所在地】町田市下小山田町3580番地 【開設年月】1994年4月 【開館日時】月曜日～土曜日(12月31日～1月3日を除く)／8時30分～17時 【建物面積】1,329.50㎡ 【建物内容】通所介護 機能訓練室及び食堂(125㎡) 地域密着型認知症対応型通所介護 機能訓練室及び食堂(237.5㎡) 会議室(1室) 【建物構造】鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階建(うち1階部分)		
設置目的	市内の介護を要する在宅の高齢者等を通所させ、介護保険法に基づくサービス等を提供することにより、その者が尊厳を保持し、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援するため。		
設置根拠法令・条例	町田市高齢者在宅サービスセンター条例		
所管部課	いきいき生活部いきいき総務課	問合せ先	042-724-3291
施設ホームページURL	https://machida-fukushi.or.jp/care-service/dayservice-oyamada-day/		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市福祉サービス協会	法人番号	8012305000427
指定管理者所在地	東京都町田市森野四丁目8番39号		
指定期間	2024年4月1日～2029年3月31日		
指定管理業務の内容	介護保険法、町田市高齢者在宅サービスセンター条例に基づき、以下に示す事業を行う。 ・法第8条第7項に規定する通所介護 ・法第8条第18項に規定する認知症対応型通所介護 ・法第8条の2第13項に規定する介護予防認知症対応型通所介護 ・法第115条の45第1項第1号ロに規定する第一号通所事業		
利用料金制	☒ 該当 ☐ 併用 ☐ 非該当	選考方法	☒ 公募 ☐ 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
利用者の気力と満足度向上を目的とした自立支援、自己実現及び自己決定優先のサービス提供	毎年度	利用者の希望に沿ったサービスを提供するため、サービス中に利用者の意向調査を行った。また、意向調査の結果に基づいて活動の選択肢を増やした。
利用者の生活意欲向上を目的とした、地域交流及び社会参加の推進	2028年度	利用者の望む地域交流と社会参加のあり方について意向調査を行い、実現可能な策の検討を行った。 地域の施設における交流及び地域団体の活動への参加を行った。
地域支え合い型移動支援サービス「通称:かしのみ号」の運行及び地域拡大への取り組み	2028年度	2024年度は1,245名の方の移動支援を実施した。 地域拡大に向けて地域のニーズ把握と協力団体創出について、関連団体と協力して意向調査等を行っているが地域拡大には至っていない。

3. 昨年度の課題

内容	利用者満足度調査回収率の改善(2023年度:69.1%)及び利用率の改善(2023年度:66.6%)に向けた取り組みを進める。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	「2.選定時の提案内容」の各項目について、内部周知や意向調査などを計画的に実施したことが確認できた。 「3.昨年度の課題」への対応状況について、利用者満足度調査回収率に関しては改善の取組みを実施したが、市が設定した回収率70%には届かなかった。利用率については、一般型・認知症対応型ともにプログラムを充実させたことにより改善が進んだ。 「5.サービスの質に関する評価」について、「地域交流及び社会参加の推進による利用者の生活意欲向上」の取組みは目標を達成し、一部実施の段階に入っていることが確認できた。 来年度に向けては、引き続き利用者満足度調査回収率の改善に向けた取り組みを継続してほしい。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	満足度調査回収率については、配布後にも送迎時にアンケートへの協力を呼びかけるなど回収率改善に取り組んだが、結果は昨年度より下がってしまった。原因の一つとして認知症対応型の利用者で独居や高齢世帯の方等が回答頂けなかったのではないかと推測される。 利用率改善については、一般型では、プログラムの内容に注目し、外出プログラムやお花等の園芸プログラム、レクリエーションでは、スタッフ手作りのオリジナルゲームを定期的に制作し、内容のマンネリ化を防ぐなど魅力的なプログラム構築に努めた。 認知症対応型では、その専門性として認知症予防プログラムを前面に打ち出し、PRを展開した。その他、入浴サービスの定員枠を拡大し、入浴希望者の取りこぼしをなくすなど、様々な工夫を行い、昨年度に比べ、利用率を向上させることが出来た。	

【評価対象年度 2024年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】	2024年11月18日～12月21日
	【配布枚数】	108枚
	【回収枚数】	73枚
	【回収率】	67.6%
	【調査方法】	回答用紙配布後、調査期間中は回収ポストを設置し期間終了後に集めて開封・集計を行った。匿名性を担保する為の配慮を十分に行った上で実施した。

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A:85%以上 B:70%以上85%未満 C:70%未満	96%	90.2%	A	
指定期間内における実績（単位：％）					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
目標値(当初)	96	96	96	96	96
目標値(変更後)	－				
実績値	90.2				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用率 (1日あたり平均)	A:71%以上 B:61%以上71%未満 C:61%未満	80%	71.2%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
目標値(当初)	80	81	82	83	84
目標値(変更後)	-				
実績値	71.2				

指標3	目標	結果	評価		
地域交流及び社会参加の推進による利用者の生活意欲向上	・地域交流及び社会参加に関する利用者への意向調査 ・交流方法の検討及び実行計画の立案	利用者への意向調査を実施。調査結果を踏まえ、地域の施設に出向き、施設職員や一般の方との交流の機会を提供。 地域団体の活動への参加、趣味活動の材料を自分で選んで買い物をする活動を立案し、実施した。	A		
指定期間内における実績					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
目標値(当初)	・利用者意向調査 ・実行計画の立案	・関係団体との調整 ・試行的交流実施	・満足度調査 ・交流先の選定 ・交流方法の見直し	・年間計画を立案し 地域交流と社会参加を実施	・満足度調査 ・地域交流、社会参加の継続
目標値(変更後)	-				
実績値	・利用者意向調査及び試行的交流実施 ・実行計画の立案及び実施				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	概ね良好な結果である。 利用者満足度はA評価となったが、調査回収率が2023年度実績(69.1%)から1.5ポイント低下したため、引き続き改善を求めたい。 利用率は目標値には至らなかったが、各種プログラムを充実したことで、2023年度実績(66.6%)を4.6ポイント上回った。 指標3の取組みは、目標としていた意向調査や計画立案に加え、交流や活動の実施まで進めることができたため、A評価とした。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2024年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
施設運営	平等・公平な取扱い	利用希望者全ての受入	特別な理由がない限りは受入れを行い、平等利用の確保に努めたことを事業報告書で確認。	適
	サービス内容の公開	パンフレット、ホームページなどでサービスの内容を公開	パンフレット、ホームページでサービス内容を周知していることを各種媒体で確認。	適
情報管理	個人情報の適切な保管	保管場所のセキュリティを確保	紙媒体は施錠できる書庫に保管、電子媒体はPCにパスワードを設定していることを事業報告書で確認。	適
	情報公開の制度を周知	利用者等に制度を説明	契約時に制度について説明していることを事業報告書及び契約書で確認。	適
安全管理	緊急時に備えた体制	マニュアルに沿った指導訓練の実施	マニュアルを作成し、消防訓練及び地域合同避難訓練を実施していることを訓練実施結果記録書等で確認。	適
	リスクへの対応能力	保険等への加入	賠償責任保険等に参加していることを保険証券で確認。	適
人的安定性	職員の指導育成	計画的な研修の実施	計画的に研修を実施していることを、年間研修計画表、研修等出席報告書及び研修資料で確認。	適
	適切な人員配置	法令を遵守した人員配置	職種に応じた適切な人員配置がされていることを勤務体制及び勤務形態一覧表で確認。	適
地域貢献	地域の住民や団体等との交流	実習生や仕事体験・ボランティアの受入	教育実習生の受入を延べ124名実施したことを受入資料及び事業報告書で確認。	適
	市民雇用	町田市民の割合が70%以上	職員37名のうち町田市民が31名で、町田市民の割合が約84%であることを職員名簿で確認。	適
環境配慮	環境配慮の取組	節水・節電やごみの減量化、リサイクル推進、温室効果ガス排出削減などの取組	節電や書類のデータ化による紙の削減、自動車のアイドリングストップや自転車使用の励行による温室効果ガス排出削減の取組みを行っていることを事業報告書で確認。	適
	職員への周知・啓発	職員への周知・啓発の実施	職員向けにポスター等を掲示し、節水・節電について周知していることを掲示物で確認。	適
業務仕様書	施設物品の管理	施設備品の適切な管理	年度末に備品の現況確認を行っていることを、備品現況確認調査の回答票にて確認。	適
	業務仕様書	業務仕様書に定められている水準の順守	施設及び建物の適切な点検を実施していることを「指定管理に係る建物及び設備の保守点検表」で確認。	適

(2) 業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
会計事務経理	会計経理事務	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年2月7日に指定管理者本部でモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
労働条件	労働条件	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年2月7日に指定管理者本部でモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	各項目について、概ね記録書類が整備されており、要求水準を満たしていることを各種根拠資料にて確認した。

【評価対象年度 2024年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位: 千円

年度		2024			2025			2026		
項目		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	0	0	0	0			0		
	利用料金	127,053	130,800	128,657	127,053			127,053		
	自主事業	0	0	0	0			0		
	その他	2,989	3,044	3,598	2,989			2,989		
	計	130,042	133,844	132,255	130,042			130,042		
支出	人件費	91,307	92,695	91,346	91,307			91,307		
	維持管理経費	21,965	28,304	26,063	21,965			21,965		
	自主事業	0	0	0	0			0		
	その他	16,770	12,845	11,798	16,770			16,770		
	計	130,042	133,844	129,207	130,042			130,042		
総計(収入-支出)		0	0	3,048	0	0	0	0	0	0

年度		2027			2028		
項目		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	0			0		
	利用料金	127,053			127,053		
	自主事業	0			0		
	その他	2,989			2,989		
	計	130,042			130,042		
支出	人件費	91,307			91,307		
	維持管理経費	21,965			21,965		
	自主事業	0			0		
	その他	16,770			16,770		
	計	130,042			130,042		
総計(収入-支出)		0	0	0	0	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2024	2025	2026	2027	2028
経常利益率	-0.7				
負債比率	15.2				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理事業は概ね適切な執行であり、安定的に運営できていた。 予算変更は、東京都の居住支援特別手当事業による収入増や手数料の支出増等を見込んだものである。 その他収入のうち主な内容は利用者等外給食費収入(2,269千円)、その他支出のうち主な内容は拠点区分間繰入金支出(9,070千円)、利用者等外給食費支出(2,379千円)となっている。